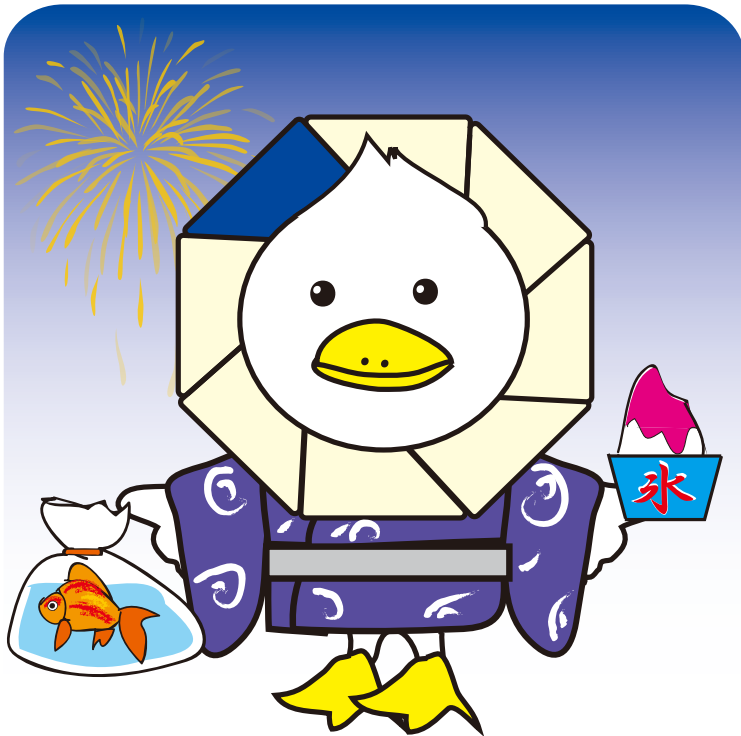


# ナカログ

Summer.  
2010  
Vol. 27



## 第4回 なか区民活動センター祭り 10月10日(日)開催します!

※荒天順延

今年のテーマは「活動体験」。来場者の方々が、その場で物作りなどを体験できるブースが、なか区民活動センター内に多数出現します。お買い物も出来ますよ!

詳細は3ページをご覧ください。

2.  
3 P 講座・イベントリポート 課題解決型交流会”もなカフェ”  
イベント告知「第4回なか区民活動センター祭り～みんなの活動体験～」

4 P がら がら  
学・楽・学・楽ぼんっ!活動の達人にインタビュー  
横浜検察審査協会・PCはまかぜ等で活躍 河野千恵子さん

5 P なか区民活動センター登録団体をご紹介  
障害者の自立生活の確立へ「横浜市障害者自立支援センター」  
英語学習の基盤づくり「英語の絵本クラブ」

6 P 年齢問わず誰でも楽しめるスポーツ「神奈川県ゲートボール連合」  
活動に役立つヒント  
「見やすい案内地図とは」BigMap 野崎隆志さん

7 P なか区民活動センターのさまざまなシーン  
なか区民活動センターの風景 6~7月

## 課題解決型交流会 もなカフェ～役立つ広報・PRとネットワークづくり

プロの助言

ヨコの助け合い

開催日時：2010年6月19日（土）13:30～16:45

シンポジウム × ワールドカフェ

会場：なか区民活動センターミーティングエリア

広報・PRについて、地域メディアや市民メディアの関係者に助言してもらったシンポジウムと、登録団体が交流しながら広報・PRの次の一手について考えるワールドカフェ形式での課題解決型交流会に24団体31人が参加されました。

シンポジウムでは地域メディアのタウンニュースを広報・PRに役立てる方法について帯刀崇さんにお話してもらいました。市民活動団体の自立的な広報・PRやネットワークづくりにインターネット上の映像配信技術を活用することについては鈴木賢津彦さんから提案がありました。

ワールドカフェ全体の進行をファシリテーター竹迫和代さんにご協力いただき広報・PRについて“困っている！…ど～しよう？”を解決するため参加者はテーマにそった意見交換を行いました。

最後はワールドカフェでの意見をもとにして、参加者や参加団体とのネットワークづくりを目的とした連絡先交換を行いました。今後もセンター登録団体同士の交流やネットワークを活用した活動が期待されています。

## シンポジウム

ゲストスピーカー：

帯刀崇さん 株式会社タウンニュース社横浜中央支社 中区・西区編集室

鈴木賢津彦さん 横浜市民放送局/東京新聞社

後半のプログラム、ワールドカフェで充実した意見交換を促す目的でテーマに合った専門家、ゲストスピーカーをお招きしました。

地域密着型メディア「タウンニュース」など紙媒体、アナログ的な広報・PR手段を帯刀さんに、経済的にも時間的にもコストをあまりかけることなく活動団体が映像配信する方法を鈴木さんにレクチャーして頂きました。



インターネットに映像配信する方法を解説（鈴木氏）



活動情報のプレスリリース方法をレクチャー（帯刀氏）

## ワールドカフェ

ファシリテーター：竹迫 和代さん 参画はぐくみ工房 代表

【ワールドカフェ】「知識や知恵は、機能的な会議室ではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間で創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法

参加者は5つのテーマに分かれたテーブルから3つ選び、15分毎にかわる先々のテーブルでテーマにそった意見交換を行いました。一つのテーブルには3人から5人ほどが座って多様な意見を出し合いました。

あえて直接関係ないテーマを設け雰囲気盛り上げる企画はファシリテーター竹迫さんのアイデアでした。

## ■テーブルトピックス

テーブル1：広報・PRのここが困っているヨー！これはヒットしたヨー！

（同じカテゴリーの活動団体がコラボレーションしてリーフレットなどを作成し共同広報する。作成したチラシの配布先がよくわからない？ → ダメもとでどンドン配布先に交渉しよう！）

テーブル2：広報・PRのためにセンターをどのように活用する？

（おしゃれなコミュニティカフェのような空間として活用出来ればいいと思う。お互いがお互いを口コミできる場。）

テーブル3：団体内コミュニケーションのひと工夫

（メールだけだと反応に温度差があるので、直接会って確認できるようにする。会報の中に一人一人の会員のインタビュー記事をのせる。）

テーブル4：団体同士のコラボレーション

（交流会の参加者・参加団体情報をリストにしたい。類似した活動団体同士の交流会を開催する。）

テーブル5：今、はまっているマイブーム

（「孫」「ハーブ」「カメラ」「インド」「シンガポール」など）



## 第4回なか区民活動センター祭り ～みんなの活動体験～



日時：10月10日（日） 10時～15時

場所：なか区民活動センター、日本大通り

※小雨決行（荒天の場合11日に順延）

※前日（10月9日）の午後と10日は、なか区民活動センター・なか国際交流ラウンジの通常業務をお休みします。（荒天時の場合には11日もお休みします）

ついに4回目を迎える”なか区民活動センター祭り”。今年は「中区民祭りハローよこはま」が日本大通り&横浜公園で開催されるのに伴い、センター祭りも同日の10月10日に開催することとなりました。

今年のセンター祭りのテーマは、“みんなの活動体験”です。来場者の方々と出展団体の皆さんが活動体験を通して交流することを目的としています。7つの体験コーナーで、様々な団体の皆さん（計15団体）が来場者参加型の催しを行います。また、3つの物販コーナーでは海外支援物品や書籍などの販売を行います。他、屋外のステージでのパフォーマンス、外国の飲食物の出店も計画しています。

今年は先着順で出展を受け付けたのですが、早々にすべての出展枠が埋まってしまいました。例年以上に、出展団体の皆さんの熱気が伝わってきます。出展内容の詳細は、追って、なか区民活動センターホームページ・チラシでお知らせいたします。

10月10日は横浜公園・日本大通り・なか区民活動センターだけでなく、中華街や山下公園などでもイベントが開催され、関内エリアが大いに盛り上がる1日となりそうです。皆様、お誘い合わせのうえ、是非ご来場くださいね！

なお、開催の有無は、「中区民祭りハローよこはま」に合わせます。（中区民祭りが荒天により順延と決定されれば、なか区民活動センター祭りも順延となります）。中区民祭り開催の有無は、当日午前6時30分から中区ホームページでご案内します。午前8時からは横浜市コールセンター（664-2525）でもご案内します。

### ■出展団体一覧（予定）

アジアの女性と子どもネットワーク、  
NPO 法人オープンソースソフトウェア・シティ、  
神奈川県環境技術研究会、神奈川県青年国際交流機構、  
キム先生の韓国語、NPO 法人 GRIP ケララ社会、  
シニアの家庭生活参加支援サポーター、  
ただすのもり環境学習研究所、  
NPO 法人ナチュラル・ファミリーアンドワン、無国籍ネットワーク、  
横浜検察審査協会、NPO 法人横浜シティガイド協会、  
よこはまマザーポート楽校、YNP 市民放送局、Y150 たまくす会

### ■協力 インドネシア人家族の会、なか国際交流ラウンジ



↑ 昨年のセンター祭りの様子



が学からが学が学  
ぽんっ！

## 活動の達人にインタビュー

複数の活動を両立するコツって…？  
会社勤めを終えて新しい人生を…  
さて、地域デビューど～しよう？…



今回は、登録団体である「横浜検察審査協会」、  
「PC はまかせ」や地域の人材バンクである「なかく  
街の先生・エコぞうり講師」などで幅広くご活躍中  
の河野千恵子さん(中区在住)にお話を伺いました。

写真 右端が河野千恵子さん

◆◆◆◆◆  
Q. 様々な活動に関わる際チカラの配分やスケジュール管理で気になさっていることはありますか？  
例えば手帳の使い方や工夫されていることはありますか？

A. ひと目でわかるように活動別に色分けして、スケジュールを組み立てています。

Q. 活動を継続させるために大切にしていることは何ですか？

A. モチベーション、つまり、動機付けを大切にしています。横浜検察審査協会は最近、検察審査に関する報道など市民に注目されることが増えてきました。もっと多くの人達に検察審査について知って欲しいと思い活動しています。PC はまかせは、主にお歳を召されたかたが健康上の理由などからなかなか外出ができない環境のなか、インターネットを使った買い物などを楽しんで欲しいと思い活動し続けてきました。

Q. 活動を通して見えてくる、地域、中区はいかがですか？

A. 「なかく街の先生」などの活動から感じられることですが、中区は学ぶ機会の多い地域だと思います。その分、もっと多くの方が学ぶ機会に関心をもって欲しいと思います。学び合う者同士のつながりが少ないと、地域の人と人の関わりがだんだん希薄になってしまうと思うからです。

Q. 会社勤めを終えて、地域デビューを考えている方もいらっしゃると思います。ライフスタイルが  
変わるときに市民活動や地域の取組みに関わるコツなどありますか？

A. 特に男性の方、長い会社勤めで染み付いてしまっているであろう肩書きや会社文化といった“鎧”をとっばらってみてはどうでしょうか？もっと身軽になったほうが良いと思います。お酒がないとお付き合いにくい、本音を話すことができないというのも考えものです。どうしてもお酒を求めると夜の時間帯に偏りがちではないでしょうか？地域デビューのタイミングも、会社勤めを辞めてからではなく、現役時代から地域と向き合うことをイメージしたり趣味を見つけるなどされたらいいと思います。

## NPO法人 横浜市障害者自立支援センター

登録No. なか - 041B 代表/横田 弘 E-mail アドレス/ information@hamajiritsu.org  
電話番号 (Fax) 045-651-3116 web サイト URL: http://hamajiritsu.org

### NPO 法人化から 2 年…

#### 「活動」に関心を持ってもらうための組織の健全化、情報開示

横浜市障害者自立支援センターの目的は「障害当事者が中心となり、現実的な状況の中での当事者の立場から、地域での自立生活を支援するための事業を総合的に展開することにより、障害者の自立生活を確立すること」です。

2002 年、任意団体として活動開始し、2008 年に法人格を取得しました。

障害当事者から相談を受ける「ピア・カウンセリング」が主たる活動です。

現在、「なかま作り & 勉強会」「なかま塾」、「ざっくばらんにしゃべる場」「しゃべり場」、「パソコン教室」にも力をいれて活動しています。

活動開始直後の課題は「広報・PR」でしたが、近年、積極的な PR の結果、問い合わせが増えています。

一方、認知され、問い合わせが増え、活動の場が広がるに伴い、当センターの「ヒト・モノ・カネ」確保が新たな課題です。法人化に伴い、所轄庁への提出書類増加から作業が煩雑になり、活動の足かせになることも否めませんが、所轄庁への諸手続きから、これまで怠っていたコンプライアンス\*1やガバナンス\*2が明確になり、「組織の健全化」につながっています。可能な限り情報開示し、組織を健全化することで「組織」だけでなく「活動」にも関心を持ってもらうこと期待しています。

活動はもちろん大事です！その活動を持続させるためにも、「広報・PR」と「組織の健全化」も怠らず力をいれていきます。

#### ひとことメモ

\*1 コンプライアンス：法令遵守/法律や規則、社会規範などに背かない組織運営。

\*2 ガバナンス：組織・共同体が自らを健全に統治すること。

法令を遵守し、円滑に業務を進めるメカニズムを組織の中に確立すること。

## 英語の絵本クラブ

登録No. なか - 159 代表/石黒 真理子  
E-mail アドレス/ mariko8686@aol.com

### 日本語の絵本を読む傍ら、たまには英語の絵本も取りだして 読んであげるような日常…子供の英語学習の基盤づくりに良い影響

「英語の絵本クラブ」は今年 3 月より横浜で活動を行っています。

活動内容は、お母さんを対象に英語の絵本の紹介や読み方指導をするということです。

代表である私は長年成人に英語を教えていましたが、子供ができたことをきっかけに幼児期からの英語に関心を持ち始めました。

幼児期から英語レッスンへ通うこどもが増えている中、そのような外部へ託すだけではなく、英語が苦手なお父さんお母さんでも親が子供の英語の世界へ積極的に関わっていくことは、子供にとっても親にとっても新しい英語学習の形態になると思います。

具体的な活動内容は、お母さんに英語の正しい発音や読み方の指導、そして英語表現を理解できるようになる手助けをするということです。

日本語の絵本を読む傍らたまには英語の絵本も取りだして読んであげるような日常があれば、子供の英語学習の基盤づくりに良い影響があるのではないのでしょうか？

このような活動に賛同して一緒に英語の絵本の読み方や選択方法、英語表現などを指導してくださる人がいらっしやれば是非一緒に活動しましょう！



## NPO法人 横浜市障害者自立支援センター

登録No. なか - 041B 代表/横田 弘 E-mail アドレス/ information@hamajiritsu.org  
電話番号 (Fax) 045-651-3116 web サイト URL: http://hamajiritsu.org

NPO 法人化から 2 年…

「活動」に関心を持ってもらうための組織の健全化、情報開示

横浜市障害者自立支援センターの目的は「障害当事者が中心となり、現実的な状況の中での当事者の立場から、地域での自立生活を支援するための事業を総合的に展開することにより、障害者の自立生活を確立すること」です。

2002 年、任意団体として活動開始し、2008 年に法人格を取得しました。

障害当事者から相談を受ける「ピア・カウンセリング」が主たる活動です。

現在、「なかま作り & 勉強会」「なかま塾」、「ざっくばらんにしゃべる場」「しゃべり場」、「パソコン教室」にも力をいれて活動しています。

活動開始直後の課題は「広報・PR」でしたが、近年、積極的な PR の結果、問い合わせが増えています。

一方、認知され、問い合わせが増え、活動の場が広がるに伴い、当センターの「ヒト・モノ・カネ」確保が新たな課題です。法人化に伴い、所轄庁への提出書類増加から作業が煩雑になり、活動の足かせになることも否めませんが、所轄庁への諸手続きから、これまで怠っていたコンプライアンス\*1やガバナンス\*2が明確になり、「組織の健全化」につながっています。可能な限り情報開示し、組織を健全化することで「組織」だけでなく「活動」にも関心を持ってもらうこと期待しています。

活動はもちろん大事です！その活動を持続させるためにも、「広報・PR」と「組織の健全化」も怠らず力をいれていきます。

ひとことメモ

\*1 コンプライアンス：法令遵守/法律や規則、社会規範などに背かない組織運営。

\*2 ガバナンス：組織・共同体が自らを健全に統治すること。

法令を遵守し、円滑に業務を進めるメカニズムを組織の中に確立すること。

## 英語の絵本クラブ

登録No. なか -159 代表/石黒 真理子  
E-mail アドレス/ mariko8686@aol.com

日本語の絵本を読む傍ら、たまには英語の絵本も取りだして  
読んであげるような日常…子供の英語学習の基盤づくりに良い影響

「英語の絵本クラブ」は今年3月より横浜で活動を行っています。

活動内容は、お母さんを対象に英語の絵本の紹介や読み方指導をするということです。

代表である私は長年成人に英語を教えていましたが、子供ができたことをきっかけに幼児期からの英語に関心を持ち始めました。

幼児期から英語レッスンへ通うこどもが増えている中、そのような外部へ託すだけではなく、英語が苦手なお父さんお母さんでも親が子供の英語の世界へ積極的に関わっていくことは、子供にとっても親にとっても新しい英語学習の形態になると思います。

具体的な活動内容は、お母さんに英語の正しい発音や読み方の指導、そして英語表現を理解できるようになる手助けをするということです。

日本語の絵本を読む傍らたまには英語の絵本も取りだして読んであげるような日常があれば、子供の英語学習の基盤づくりに良い影響があるのではないのでしょうか？

このような活動に賛同して一緒に英語の絵本の読み方や選択方法、英語表現などを指導してくださる人がいらっしやれば是非一緒に活動しましょう！



# なか区民活動センターの風景 6月～7月

## 研修室 7月12日

「中学校社会科を語る会」は、平成11年に社会科学などに関する研修支援という目的で発足したグループです。

中学校の社会科を元に、様々な社会現象を見つけ出し、研究し、議論しています。

写真は六浦小学校の教師「長島重三郎」の日記の解読風景です。代表者の田村さんによると、この日記は大変貴重な資料だそうです。人権問題及び生活史などに関わる内容を解読しながら、最終的には必要な部分を抜き出し、資料化するそうです。



## ミーティングエリア

7月12日

中学校3年生の中国人の生徒に日本語を教えている「朋友の会」の様子です。「朋友の会」は中学校3年生の外国人の学生を対象に、教科書の中から問題を出したり、テストを行ったり、生徒の書いた作文をチェックするといった活動をしています。



↑生徒の作文“わたしの夢”を、先生と一緒に読みながら、表現のおかしな箇所を直しています



↑生徒のテストの問題を分析しながら、ホワイトボードに文法を書いています

## ミーティングエリア

7月23日

「みんなで楽しむ織物村」の活動風景です。編み物が好きな60代中心の集まりで、毎週金曜日になか区民活動センターで活動をしています。活動風景から、編み物に対する熱心さが伺えました。

自分の作品を繰り返し眺め、そこから新たにデザインを追及していく姿が印象的でした。



## ミーティングエリア

6月15日

大地震で被災したハイチ視察前に「ハイチの会セスラ」が「市民放送局」に現地での撮影・取材に関して技術的なアドバイスを教えてもらっていました。



7月31日

「ハイチの会セスラ」のカリンさんが取材・撮影した映像を「市民放送局」のアドバイスでDVDに編集しネットでも視聴できるよう共同作業中。



## 研修室

7月30日

中区障害者団体連絡会が、小学生を対象に「夏休みふれあい工作教室」を行いました。障害のある方が先生になってアート石鹸やピースフラワー作りを教えていました。研修室は多くの子どもたちでにぎわっていました。





## センターからのお知らせ

### 今年もゴーヤのカーテン実施中

なか区民活動センターで行っている緑のカーテンも、今年で3年目となりました。今年は緑のゴーヤだけでなく、珍しい白ゴーヤも植えました。遮光により室内の温度を下げるのが目的の緑のカーテンですが、道行く人と手入れをするスタッフとの間に、楽しい交流をも生み出してくれています。

見た目も涼しく、実も食べられるゴーヤのカーテン。皆さんもベランダで、お庭で、試してみませんか？種から蒔く場合は4月に、植えつけは5月に行くと真夏にはカーテンになりますよ。



植えたばかりの頃↑



7月上旬の様子↑



←大きな実が  
なっています

### なか区民活動センター登録団体の皆様へ 団体登録証の携帯をお願いします



なか区民活動センター窓口で研修室の予約をされる際、またロッカーの鍵をご利用になる際、こちらから団体登録証の提示を求められることがあります。団体登録証は各団体1枚ずつしかありませんので、どうぞ登録証の表・裏面をコピーしていただき、予約作業をされる方は登録証もしくはコピーを手に、窓口にお越しくださいますようお願いいたします。

## なか区民活動センター 施設利用のご案内

中区民や横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・地域活動など）をサポートする施設です。

#### 開館時間

午前9時～午後9時

#### 休館日

毎月第4月曜日  
(祝・休日の場合は  
翌火曜日及び年末年始)

#### 施設の利用について

中区民・横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・ボランティア活動・地域活動などの公益的な活動）にご利用いただけます。研修室や一部の設備の利用には団体登録が必要です。

#### 利用登録

研修室・ミーティングエリア・印刷室の予約、貸しロッカー・レターケース、貸出機材を利用する場合は利用登録が必要です。登録申請にはセンタースタッフとのヒアリングや審査があり、少々お時間をいただきます。

みなとみらい線 日本大通り駅



「ナカログ」はバックナンバーも含めて、なか区民活動センターのホームページでもご覧いただくことができます。

なか区民活動センター ホームページ  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/ncac/>

なか区民活動センターマスコット「もなか」



「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行／なか区民活動センター編集室 イラスト（もなか）／小林 問合せ／なか区民活動センター（中区地域振興課） TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343 〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 E-mail : na-katsudou@city.yokohama.jp